

Tecamin Flower

花芽の充実に!



保証成分
(カック内は
その他成分)

窒素全量 2.5%
りん酸全量 8.0%
内 水溶性りん酸 7.0%
水溶性加里 1.0%
水溶性ほう素 2.50%

(モリブデン 0.59%)
(遊離アミノ酸類 約3%)



※画像はイメージです。

「アジパンダ®」は味の素 ㈱のキャラクターです。

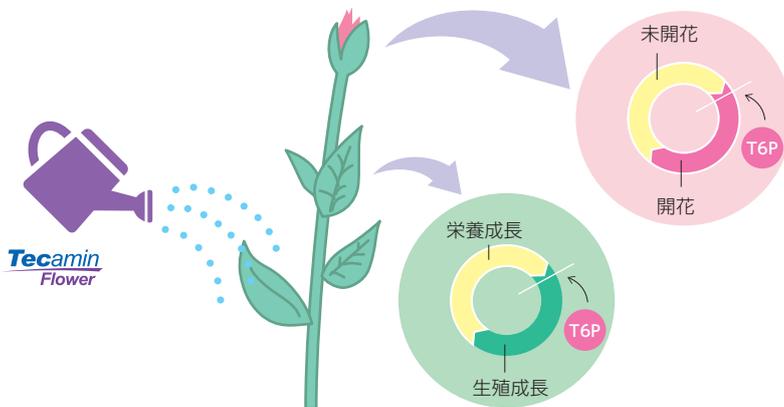
製品特長

遊離アミノ酸に、リン酸、ホウ素、モリブデンを加え、花芽の充実、着果の向上をサポートします。

こんな時にお使いください

- 花芽を充実させたい
- 高温等のストレスによる着花不良、落花を抑えたい
- 着果を高めたい
- 栄養成長から生殖成長への切り替えを促したい

Tecamin Flowerはトレハロース-6-リン酸(T6P)の合成を促し、生殖成長や開花の調整をサポート



モリブデン:花粉の発芽を促進

トウモロコシへの影響 (Agarwala et al, 1979)

モリブデン濃度	花粉粒数	花粉の直径(μm)	花粉生存率(%)
0.02ppm	2437	93.8	85
0.0001ppm	1937	85.0	51
0.00001ppm	1300	67.9	27

ホウ素:花粉管の成長を促進

各植物への影響 (García-Hernández et al, 2005)

種類	花粉管長(μm) ホウ素あり	花粉管長(μm) ホウ素なし
トウモロコシ	457	130
マツ属	122	61
タバコ	324	154
ユリ	1235	704

施用方法

葉面散布

施用量

10a当たり100~300ml

希釈倍率

500~1000倍程度

豆類、麦類、果菜類、果樹など幅広くご使用いただけます

豆類、小麦など



トマト、キュウリなどの果菜類



果樹



施用例

豆類、麦類、水稻	着蕾期、開花初期	10a当たり200mlを希釈して葉面散布
果菜類	開花期、着果期	10a当たり200~300mlを希釈して葉面散布
果樹類	開花期、着果期	10a当たり300mlを希釈して葉面散布
花卉類	着蕾期	10a当たり200~300mlを希釈して葉面散布

施用事例

大豆

Tecamin Flowerを開花初期に葉面散布 (200ml/10a)



(北海道 当社調べ)

中玉トマト

Tecamin Flowerを各花房開花時に葉面散布 (200ml/10a)



(愛知県 当社調べ)

使用上の注意

●希釈した液は保存出来ません。その日のうちに使い切ってください。●「石灰硫黄合剤」などアルカリ性の資材や銅剤農薬との混用は避けてください。●ミネラルの多い資材と併用する場合は、沈殿など生じないか事前に少量で試し、問題ないことをご確認ください。●長時間放置すると分層します。使用前は必ずよく振る / 攪拌して均一になったことを確認の上ご使用ください。●成分の結晶が発生することがあります。使用前はよく溶解してからお使いください。



輸出元 Agritecno Fertilizantes S.L.
(スペイン・バレンシアに本社を構える
味の素(株)のグループ会社です。)
<https://www.agritecno.es/>

Eat Well, Live Well.



販売元 味の素ヘルシーサプライ株式会社
〒104-0031 東京都中央区京橋一丁目19番8号 京橋OMビル
TEL (03) 3563-7580 FAX (03) 3567-0059
<http://www.ahs.ajinomoto.com/>

販売店